



やまゆり園事件

丸2年を前に共生 社会の実現へ声明

党神奈川県議団

神奈川県の障がい者支援施設「津久井やまゆり園」（相模原市）での入所者刺殺事件から26日で丸2年を迎えるのに先立ち、公明党県議団（渡辺均ひとし団長）は11日、県庁内で黒岩祐治知事

に会い、「ともに生きる社会の実現に向けての声明」を手渡した【写真】。

席上、渡辺団長は、障がい者に対する犯人の差別的思考が事件の背景にあり、インターネット上に同調する意見が書き込まれるなど、偏見が根強く残っていると指摘した。

その上で、県が2016年10月、障がい者差別をな

くそうと「ともに生きる社会かながわ憲章」を制定したことに言及。この憲章への理解を県民に広めるとともに、「障がいの有無や性別、年齢、人種、国籍、社会的地位などによる差別を排し、互いに認め合える共生社会の実現に一層取り組んでほしい」と訴えた。

黒岩知事は「しっかりと取り組む」と答えた。